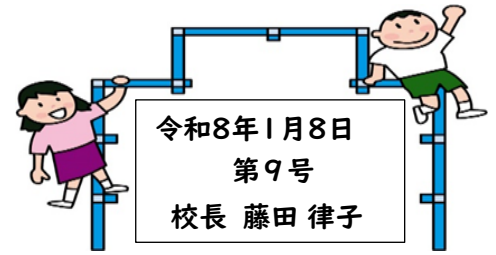
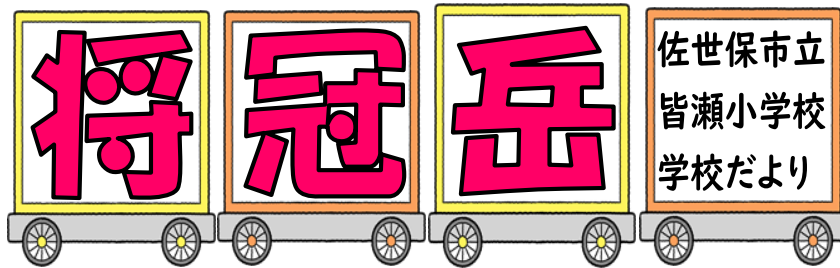


からだを鍛え知を磨き いつも誰にでも思いやりを持ち ぜんりよくで努力し伸びていく子供の育成

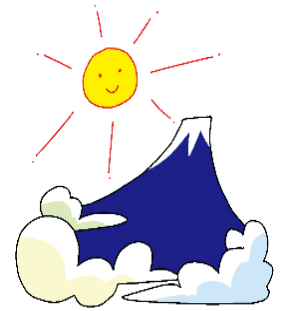


## 新しい年を迎えて

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末・年始に、テレビの特集番組を視ていて、いろいろと考えさせられました。大規模火災、地震、災害、戦争……と、何があってもおかしくないことを思い知るとともに、何があっても大切な子どもたちの安心・安全を守らなければと、改めて学校の責任を痛感しました。

また、世界が大きく変化する激動の時代を生きていることも実感しました。子どもたちが生きていく20年後、30年後の未来社会がどうなっているか、想像もつきません。でも、どんな時代が来ても、どの子にも、その子らしく幸せに生きていく力を育てていかななくてはなりません。



そこで、皆瀬小学校では、令和8年度に向けて学校教育目標を見直すことにしました。先日、職員全員で、子どもたちが未来社会を生き抜くために小学校の6年間でどんな力をつければよいか、どんな子どもを育てるか話し合いました。これから話し合いを重ね、3月までに、令和8年度からの皆瀬小学校の教育活動のグランドデザインをつくっていきます。保護者の皆さんや地域の皆さんもご意見をお寄せください。

## 楽しさいっぱい! 皆瀬小学校

### 逃走中 & 餅つき

これは、12月21日のキッズクラブの餅つきの時に作っていただいた鏡餅です。

参加した子どもたちは、重たい杵にヨロヨロしながらも、初めての餅つき体験を楽しみ、つきたてのお餅を味わいました。

12月7日の「逃走中」では、黒スーツに黒サングラスのハンター（保護者、先生、中学生）から歓声を上げて逃げる楽しそうな姿が見られました。子どもたちに素敵な体験をさせていただいたキッズクラブと地域の皆様に感謝します。



### 力いっぱい綱引き!

12月の昼休みには、体育委員会が企画した綱引きが行われました。3学年ずつ赤組と白組に分かれて、みんなで息を合わせ、足を踏ん張り、思い切り綱を引きます。綱引きはシンプルだからこそ盛り上がります。実は、インフルエンザの流行で一度は延期になったのですが、何とか開催できてよかったです。



## 1月の予定

8日(木)3学期始業式

9日(金)短縮日課全学年給食後下校  
身体測定5・6年

12日(月)成人の日

13日(火)身体測定3・4年

14日(水)身体測定1・2年

18日(日)家庭の日

19日(月)食育・徳育の日

20日(火)国際理解指導員来校日

22日(木)避難訓練(地震)

22(木)~25日(日)図画工作児童作品展、  
ふれあい作品展(島瀬美術館)

23日(金)縦割り活動

30日(金)劇団 風『星の王子さま』巡回公演  
9時50分開演

SC本山先生来校日

### 本物に触れる体験…ミュージカル『星の王子さま』



1月30日(金)に、本校体育館に特設の舞台をつくり、東京演劇集団 風による『星の王子さま』の公演が行われます。このミュージカルは、鑑賞するだけでなく、子どもたちも演者として参加するもので、実は、この公演に向け、子どもたちは10月3日にワークショップに参加しました。私はてっきり、歌や振りを教えてもらうのだろうと思っていたのですが、ワークショップでは、お芝居を感じ取り、自分の意志で立ち上がり、俳優さんと気持ちを合わせ、台詞を言ったり、自分の思いのままに歌ったりすることを求められました。私には難しかったのですが、子どもたちはちゃんとお芝居に入り込み声を出していました。さて、本番はどんな舞台になるのでしょうか。ワクワクします。保護者や地域の皆様もぜひ一緒に楽しみませんか。

鑑賞をご希望の方は、本校教頭(49-2039)までご連絡ください。

### 夢を描く …… 自分の可能性を信じて

子どもの頃、お正月に我が家では、家族の前で「新年の抱負」を言われるのが恒例でした。これから始まる1年間を展望しながら、「よ~し、今年は何を頑張ろうかな。」と胸をふくらませたことを思い出します。私の両親は、子どもの私に、繰り返し「三日坊主になってもいいから、目標を立てなさい。」と教えてくれました。そのことを今、感謝しています。

おかげで私は、この年齢になってもよく目標を立てます。英会話を頑張ろうと決めてCDを買ってみたり、ピアノを練習してみたり……どれもこれも、結局途中でやめてしまうのですが、目標を立てる時には、英語がペラペラの自分やピアノを華麗に弾く自分を思い描いて、ワクワクします。三日坊主になっても、夢を描き目標を立てる時のワクワク感は、私の人生を幸せにしてくれています。

子どもたちの中には、「目標なんて立てても無駄。どうせ無理に決まってる。」という子もいます。自信がないのかもしれない。努力することが面倒くさいのかもしれない。でも、子どものうちから自分で自分の可能性を諦めるようなことを口にするのはさみしいことです。「どうせ」なんて言わないで欲しい。ダメだったらその時やめればいいし、目標は何度変更してもいいのです。子どもたちが、自分の可能性を信じて、夢を描き目標を立てるのを、私たち大人もワクワクしながら、あたたかく見守り、支えていきたいですね。

